

6 災害現地調査—中国四川大地震

6-1 地震の概要

(1) はじめに

2008年5月12日午後2時28分(日本時間午後3時28分)、中国四川省汶川県を震源地とするマグニチュード7.9(米国地質調査所発表)の地震が発生しました。被害範囲は四川省に加え、甘肅、陝西、重慶、雲南、山西、貴州、湖北、湖南の各省にまで及びました。断層の長さは約280kmに達し、多数の地すべりが発生、34の天然ダムが確認されました。2008年9月18日現在、30,235回の余震が計測されています。

被害は死者6万9,227人、行方不明者1万7,923人、負傷者37万4,643人、被災者4,571万人にも及びました。

また建物への被害は、倒壊建物約536万棟、損壊建物2,100万棟を超えました。また、水道管、病院、学校、道路、橋梁等のインフラに深刻な被害が生じ、生活基盤に甚大な影響を与え、経済被害は860億ドル(7.8兆円)と推計されます。

今回の震源付近では、1933年茂汶北迭溪地震(M7.5)、1976年松潘-平武地震(M7.2)など歴史上M7以上の地震が数回発生しており、今回の地震はこの地域での最大地震となりました。

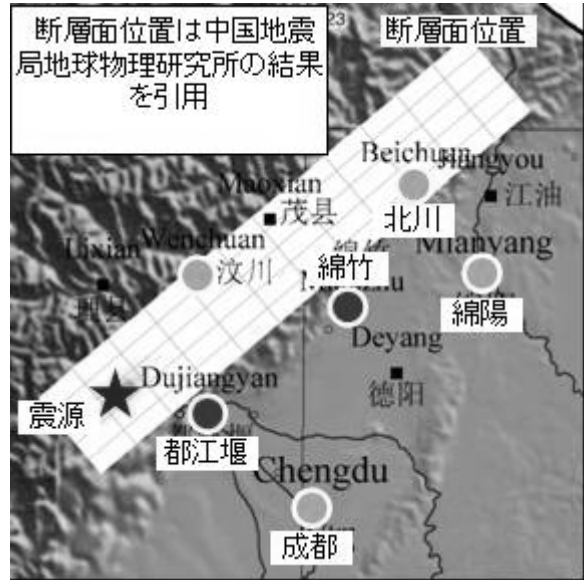


図 6-1-1 被災地調査箇所(都江堰、綿竹)